

令和7年度 第2回ボランティア連絡会 会議録

1 開催概要

- 日時:令和8年2月3日(火)
- 場所:慈恩寺小学校
- 出席者:
防犯ボランティア、自治会関係者、PTA 代表、学校長・教職員
岩槻警察署職員 防犯ボランティアリーダー

本連絡会は、日頃より児童の登下校見守りや地域防犯活動に尽力いただいている皆様への感謝を伝えるとともに、今年度の活動を振り返り、今後の安全対策について情報共有・意見交換を行う目的で開催された。

2 学校・PTA からの報告

- 地域や防犯ボランティアの協力により、今年度も大きな事故なく、落ち着いた学校生活を送ることができている。
- 子どもたちから防犯ボランティアの皆様へ、日頃の見守り活動への感謝の気持ちを伝える機会（「ありがとうの会」）を実施。
- 今後も、地域・学校・保護者が連携し、子どもたちを支える体制を継続していく。

3 児童(6年生)からの提案

6年生より「地域のために自分たちができること」として、以下の提案があった。

- 通学路や地域でのごみ拾い活動
- 地域でのあいさつ運動
- 小さい子どもとの交流(遊び・読み聞かせ など)

これに対し、

- ごみ拾いについては「危険物や衛生面に配慮が必要」「必ず大人と一緒にすることが大切」といった意見が出された。
- 中学生以降の地域ボランティア活動への参加を期待する声が多く寄せられた。

4 情報交換・意見交換の主な内容

(1) 登下校時の安全について

- 下校時に道路にはみ出して歩く児童が見られることがあり、交通事故への懸念がある。
- 特に歩道のない狭い道路では、一列で歩く・追い越し時の安全確認を徹底する必要がある。
- 交通量の多い交差点や見通しの悪い場所では、引き続き重点的な見守りを行う。

(2) あいさつの大切さ

- 「あいさつは防犯の第一歩」であり、元気な声でのあいさつが犯罪抑止につながる。
- 高学年(特に6年生)が手本となり、下級生へあいさつを広げてほしいとの要望が出された。

(3)ごみ・環境面での課題

- 通学路周辺で、空き缶・たばこの吸い殻等が見られる。
- 雑草や側溝、道路標示の劣化などについては、**警察・市役所と連携して対応していく。**

(4)自転車のマナー・交通ルール

- 自転車は原則「車両」であり、**左側通行が基本。**
- 歩道走行時は歩行者優先を徹底する必要がある。
- 令和8年4月以降、自転車の交通違反に対する取り締まりが厳しくなるため、注意喚起を行う。

5 警察・防犯関係者からの情報提供

- 県内の声かけ事案は減少傾向にあるが、**発生時間帯は15～17時が多い。**
- 被害に遭うケースでは「一人で行動している時」が多い。
- 子どもたちには、
 - ①一人にならない
 - ②知らない人についていかない
 - ③大声で助けを呼ぶ
 - ④外出時は行き先を伝えるという「基本の約束」を繰り返し伝えることが重要。

また、防犯ボランティア活動においては、

- 過度な接触を避ける
- 飲食物を与えない
- 子どもを車や自宅に入れない
など、**見守る側のルール遵守**も改めて確認された。

6 来年度に向けた連絡事項

- **第1回 防犯ボランティア連絡会** 令和8年6月23日(火)予定
- **第2回** 令和9年2月2日(火)予定
- 新年度は、1年生の下校時刻が時期により異なるため、**見守り時間帯が複数になる。**
引き続き、低学年優先での見守りに協力をお願いしたい。

7 まとめ

地域の防犯ボランティアの皆様の継続的な活動により、子どもたちは安全で安心な学校生活を送ることができている。

今後も、**あいさつ・見守り・声かけ**を大切に、学校・地域・警察が連携して、子どもたちの安全を守っていくことを確認した。